

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

山田みき

特集号
さん

自民党東京都第一選挙区支部長 元環境副大臣
前衆議院議員 (東京1区 千代田区・新宿区)

昨年末に自民党の東京都第一選挙区支部長に選任された山田みきさんは、地域の行事などを巡りながら、皆様の声を国政に届けるべく精力的に活動を続けています。

また、物価高や人手不足に悩む事業者の方々への支援や、医療・医薬品に関する政府への提言づくり、インドで開催された産学官シンポジウムでの登壇など、政策面でも幅広く実績を重ねています。

本号外ではパワーアップして全力で活動する山田美樹さんを集めます。



「努力が報われる社会へ」全力で活動中！

【山田みきさんによる活動報告】



エビデンス(証拠)重視の政策と直接民主制への問いかけ

2月1日 『医療政策サミット2025』パネリストを務める

シンポジウム『医療政策サミット2025』でパネリストを務めました。テーマは「エビデンスに基づく市民主体の医療政策」。近年、証拠に基づく政策形成(EBPM)への関心が高まる一方、医療政策においては患者・当事者の「声」が極めて重要です。客観的データと価値・規範のバランスをどのように取るべきか、アカデミアと行政と政治の立場から議論を行いました。

議論は医療政策を超えて今の政治のあり方にも及びました。すべての国民の声をキャッチするとしたら究極的にはネット投票による直接民主制になるのでしょうか、その方法で本当に正しい「声」を得られるのか、**昨今のSNSによる世論形成には危うさを感じています。**自分の耳には直接届かない声も十分に推察し、価値判断を加えた上で国民の「声」として発信していくのが、政治家の大切な仕事だと思っています。



日本、インド、バングラデシュ シンポジウムで連携強化。活発な議論も

2月7日 インドで開催された産学官シンポジウムで講演

インド北東部で開催されたシンポジウム「日印知的コンクラーベ『絆~Kizuna~』」に出席。日・印・バングラデシュ3カ国の政府機関、民間企業、大学、シンクタンクなど約80名が参加する中、**インド国会議員や州閣僚とのセッションに登壇しました。**インドの人口は14億人、GDPは毎年5~7%で伸び続け、再来年にはドイツ、日本を抜いて世界第3位へ。グローバル・サウスの盟主としての地位を確立しつつあります。地政学的にも、インド太平洋地域の安全保障の観点から、台頭する**中国とのパワーバランスの上で日印関係は非常に重要です。**

開催地のアッサム州グワハティは、安倍晋三元首相とモディ印首相が首脳会談を行うはずだった場所です。インド北東部は、①バングラデシュとの物流、②半導体工場の新、③日本への技能実習生の派遣など大きな可能性があり、特に半導体ではインド日本商工会も関心のある企業150社を集めた半導体委員会を立ち上げており、**経済安全保障の観点から同志国であるインドとの半導体産業での協力が期待が高まっています。**



タタ社、州政府関係者、日本政府関係者、日系企業による意見交換



インド初の国産半導体組立・試験工場の建設現場(アッサム州ジャジロード)

今回の訪問では、バングラデシュとの国境での通関や、バイオエタノール原材料の産地、建設途上の半導体工場などの現場を視察しました。また講演では、通産省で通商交渉に関わった経験から**貿易自由化の必要性と、環境副大臣を務めた立場から環境と経済の両立の重要性**をお伝えしました。人と技術の架け橋の一助となればと思います。





都心部ならではの課題訴え、中小企業に支援を

2月13日 トラック協会千代田支部で講演

トラック協会千代田支部でインドの物流事情について講演。東京都トラック協会では私が環境副大臣を務めていた際にもトラック物流の脱炭素化に向けた環境省の取り組みについて講演の機会をいただいたことがあります。

日本では、いわゆる **2024年問題による慢性的な人手不足**に加え、**物価の上昇や燃料価格の高止まり**により、99%以上が中小企業であるトラック運送事業者の方々は、かつてない厳しい経営環境に直面しています。こうした全国共通の課題に加え、集配車両の駐車規制の緩和や車庫用地の確保など、都心部ならではの課題もあります。**経済の血液である物流を支える**ために、トラック協会をはじめとした皆様との意見交換の機会を重ねていきたいと思っています。



恒例の確定申告相談会訪問。期限の後ろ倒しなど、課題については今後も改善の申し入れを継続

1月末～2月中旬 確定申告無料相談 (1月29日新宿、1月30日四谷、2月17日麹町、2月19日神田)

毎年恒例の税理士の先生方による確定申告相談会を今年も訪問させていただきました。混雑緩和のための予約方法の改善や、徐々に増え始めたスマホ申告についての相談など、地域の特性に応じたきめ細やかな対応がなされていました。

確定申告の期限に関しては、現行の3月15日では短期間に異常な業務負担を強いられること、医療費情報が届くのが2月16日の申告開始に間に合わないこと、個人事業者の消費税申告、納付期限は3月末であることなどから、**これまでも衆議院予算委員会などで期限の後ろ倒しを訴えてきました**。申告事務の簡素化や、国税庁や自治体の事務の電子化の推進によって、将来的には実現可能な課題として今後も改善を申し入れてまいります。



医療費増大や新薬開発の課題解決へ向け 研究支援や薬価制度改革などを提言する方針

2月19日 『創薬イノベーション再興の会』 設立記者会見



厚生労働分野における中堅の前衆議院議員7人が集まって新時代戦略研究所(INES)のもとで『創薬イノベーション再興の会』を立ち上げ、記者会見を行いました。今後、定期的に議論を重ね、**6月の骨太の方針を前に提言をまとめて公表する予定です**。



高齢化や医療・医薬品の高度化に伴い増え続ける医療費を抑制するために、毎年切り下げられる薬価。日本で新薬を開発し上市しても海外に比べて薬価が低く投資回収ができない、そのため日本で新薬が生まれず、海外から日本に新薬が入ってこない、「ドラッグロス」が深刻化しています。**国民皆保険制度を維持しつつ、すべての国民が必要な医薬品にアクセスできる仕組みづくりが急務**です。こうした問題に、①研究開発支援、②薬価制度改革、③マクロ財政の視点から取り組んでいきます。



都政と連携。カスハラ対策強化へ方針説明

3月11日 社会保険労務士の先生方とのカスタマーハラスメント勉強会

社会保険労務士城西支部の先生方によるカスタマーハラスメント対策の勉強会に、**吉住はるお都議会議員と共に講師としてお招きいただきました**。昨年5月に自民党カスタマーハラスメント対策プロジェクトチームの副座長として総合的な対策強化に向けた提言をとりまとめましたが、その後、昨年秋に**東京都はカスタマーハラスメント防止条例を制定**し、また国会においても**通常国会で対策強化のための法改正**が行われる予定です。国政の立場からはこれまでの議論の経緯や今後の方向性、業種ごとの対応状況についてご説明し、吉住はるお都議からは4月に施行される条例の内容や東京都の支援策などについて詳しくお話しいただきました。地元の皆様が直面する課題に、区政・都政・国政が連携しながら取り組んでまいります。



「努力が報われる社会へ」全力で活動中です

山田みきさんプロフィール

昭和49(1974)年3月15日東京都生まれ。東京大学法学部卒、コロンビア大学経営学修士(MBA)。通商産業省、内閣官房を経て、ボストンコンサルティンググループ、エルメスジャパンに勤務。第46回衆議院議員総選挙で東京1区(千代田区・港区・新宿区)から初当選。第三次安倍改造内閣にて外務大臣政務官、第二次岸田改造内閣にて環境副大臣を務める。当選4回。元自民党法務部会長。

山田みき 四谷事務所

〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-14 森田屋ビル 501号
TEL: 03-6273-1282 FAX: 03-6273-0100



Home Page



Instagram



YouTube